

毎年12月1日は世界エイズデーです！

世界エイズデーは世界規模でのエイズ蔓延の防止、エイズ患者や HIV 感染者に対する差別・偏見がなくなることを目的として、1988年に世界保健機関（WHO）により定められた記念日です。

今年の「世界エイズデー」のテーマ



「レッドリボン 30周年～Think Together Again～」

レッドリボンには、「エイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しない」というメッセージが込められています。知識がないと、偏見や差別につながる可能性があります。

皆さんは「エイズ」にどんなイメージがありますか？そもそもエイズって？

エイズは病気の名前。

エイズになると、免疫力が低下して様々な病気を発症します。
普段なら病気にならないような菌でも、感染して肺炎などを引き起こします。

そもそもエイズは「HIV」というウイルスに感染することが原因です。

HIVに感染したあと、数年～10年をかけてエイズを発症します。

なぜ、HIVに感染するのか？

HIVに感染する経路は3つあります。

1. **性的な接触**・・・精液、ちつぶんびつえき膣分泌液、性器、肛門、口などのねんまく粘膜（傷や出血）。
2. **母子感染**・・・お母さんが感染している場合、胎内や産道、母乳から赤ちゃんへと感染。
3. **血液感染**・・・血液に触れる、注射器（ピアッサーなども含む）の使い回し。

感染すると一生治らないのか？

HIVに感染すると一生治ることはありません。

しかし、薬を飲むことで、病気の進行をおさえ普通に生活することが出来ます。

一番大切なことは予防すること、二番目に大切なことは早く見つけて、早く治療をすることです。

予防する

表ページで感染経路は3つあることを学びましたね。それぞれに予防方法があります。

1. 性的な接触

性的な接触をしない、性的な接触をする場合はコンドームを使用する。

口の中を含めて、^{ねんまく}粘膜同士が直接ふれあわないようにする。

異性間・同性間ともに。

2. 母子感染

帝王切開による出産、粉ミルクの使用など。

病院と相談しながら、出産や子育てを行います。



3. 血液感染

自分以外の血液を直接触らない。血液にふれる時はゴム手袋をする。



○これらのことでは感染しません。正しい知識をもちましょう。

・咳やくしゃみ ・握手 ・お風呂やプール ・トイレの便座 ・汗 ・(口内に傷や出血がない場合の)キス

早く見つけて、早く治療をする

保健所や病院で検査を受けることができます。

保健所で検査

「^{とくめい}匿名 (名前を言わなくてもいい)・無料」で検査を受けることができます。

感染したと思われる時期から2ヶ月ほど経っていれば、検査することができます。検査は血液検査です。その日に結果を教えてもらえます。



病院で検査

女子は婦人科、男子は泌尿器科で血液検査を行うことができます。費用は2000円くらい。

もし、HIVに感染していることが分かったら

専門の医療機関に受診します。適切な治療をすることで、普通に生活することができます。

さて、今年の世界エイズデーのテーマ。このテーマに込められた思いに気づきましたか？

「レッドリボン 30周年～Think Together Again～」

レッドリボンは今から30年前のアメリカで使われ始めました。1991年(30年前)にニューヨークの芸術家たちが、エイズで亡くなった仲間に対する悲しみの気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を表すため、レッドリボンをシンボルとする運動を始めました。

30年経った今もなお、「レッドリボン」に込められた思いは変わっていません。

エイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しない。

